

# リーディングDXスクール事【実践事例修正】

吉川市立旭小学校(埼玉県)

【取組内容①】 探究的な学びを通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の記録を残すデジタル・ポートフォリオの実践

ねらい 総合的な学習の時間で実施した校外学習における写真、動画や取材内容等をGoogleスライドに蓄積し、いつでもそのデータを利活用できるようにすることで、様々な教科等の「個別最適な学び」や「協働的な学び」の一体的な充実を図る。

## 授業実践例(6年(総合的な学習の時間):鎌倉・横浜にイッテQ)

- 1 当事者意識を高め構築する課題づくり
- 2 多様な価値観を持つ他者との学び
- 3 今の自分と未来をつなげる学び

### 1 当事者意識を高め構築する課題づくり

様々な方法で収集した情報や、他者の様々な価値観をもとに吉川市にとってのWell-beingを探るための自らの課題を設定する。



- ① 吉川市教育委員会によるデジタルシティズンシップ授業やPBL授業を全年齢オンライン等で実施。その授業を通し、当事者意識を持って設定した課題が探究的な学びの大きな原動力になることを学んだ。
- ② 街づくりについて本やインターネット(一人1台端末を活用)で情報収集する。自らの関心や疑問に関して集めた情報を整理・分析し、課題づくりに活かした。
- ③ 吉川市の職員から吉川市の土地の利用や歴史、行事や産業、街づくりの経緯とこれからの構想についてプレゼンを聞き、実生活と結びつけることで、当事者意識を高めた。
- ④ 吉川市と比較することで、当事者意識を持って鎌倉市や横浜市の見学や取材を行うことができた。吉川市の特徴について認識を深め、課題の設定につなげることができた。

### 2 多様な価値観を持つ他者との学び

個々の課題やデジタルポートフォリオを共有し、課題毎にグループを作り、テーマを設定する。



- ① 現地取材(修学旅行)で感じた感動や吉川市との違い、街の発展のためのアイデアについてGoogleフォームを活用して報告書を作成した。作成したスライドはデジタル・ポートフォリオとして蓄積し、今後の発表会の資料作成や国語や社会科の学習にも活用する。他学年も同様に、作成した作品は学びの記録として蓄積して活用を図ることで、ICTの善き使い手の育成を図る。
- ② 個々の課題については、多様な価値観や考えをもつクラス全員の関心や疑問をICT(ジャムボード・ムーブノート)を活用して共有する。個々の課題や解決の方法を仲間と共に再確認しながらテーマを設定する。

### 3 今の自分と未来をつなげる学び

今後、Googleスライドを活用して吉川市の街づくりについての提案を作成し、保護者や地域の方々、吉川市役所職員に向けて情報発信を実施する。【実践⑤】

## 個別最適な学び

Googleスライドに自分が得た情報を蓄積し、自分のデータをいつでも引き出せるようにすることで、自己調整をしながら学習を進めることができるようにした。

## 協働的な学び

Jamboardを活用し、グループ活動することで友達の意見を瞬時に把握し、自分の学びに活かすことができた。また、Classroomで情報共有をし、学びを広げた。

